

2023年度 情報科学発展演習

プログラム名：

アプリケーション開発におけるデータベース設計

担当：桑原恒夫

アプリケーションを構成する技術階層

ユーザ・インタフェース

使いやすさ、解りやすさ

➡ 認知心理学・感性工学に基づく
実験参加者実験・評価

心の情報処理

ロジック

機能、性能

➡ オブジェクト指向に基づく
業務分析・機能設計・プログラミング

オブジェクト指向
プログラミング

データベース

守備範囲の決定

➡ 対象世界の情報構造の同定(ER図)

本プログラム

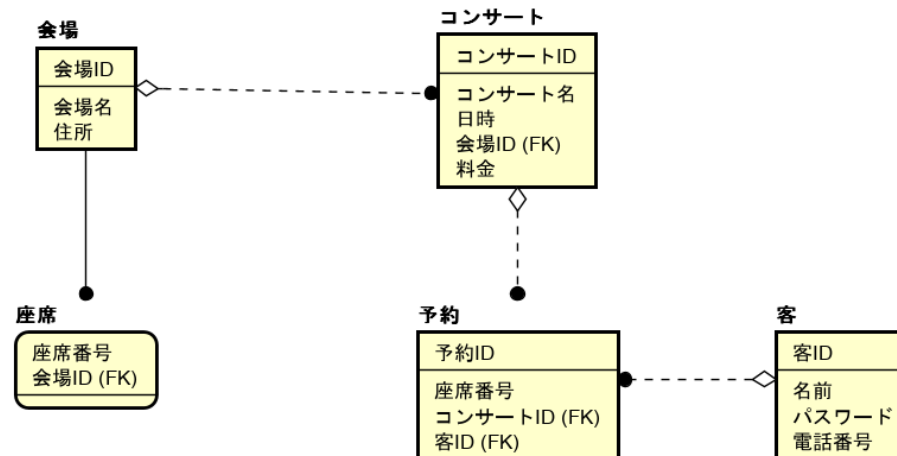
定員:9名(1クール3名ずつのグループワーク3組。これを前半と後半で実施する。前半と後半を両方受講する事は不可)

概要:簡単なアプリケーションを作成するときに必要なデータベースの設計(E-R図の作成)の演習を行う。まずユースケース分析で要求仕様を決め、その仕様を実現可能なデータベースの設計を行う。
グループワークにはZoomのブレイクアウトルームを使用。

演習問題例

例えば以下のアプリケーション作成に必要なデータベースを設計する。

例題:コンサートのチケット予約(簡略版)



時間:1クール7コマの授業で完結

履修条件:データベースシステムとソフトウェア工学の単位を取得済の事
(データベースの正規化を理解していること。astahが操作できること)。